

# 千歳市高齢者福祉計画・第9期千歳市介護保険事業計画の実施状況（令和6年度）

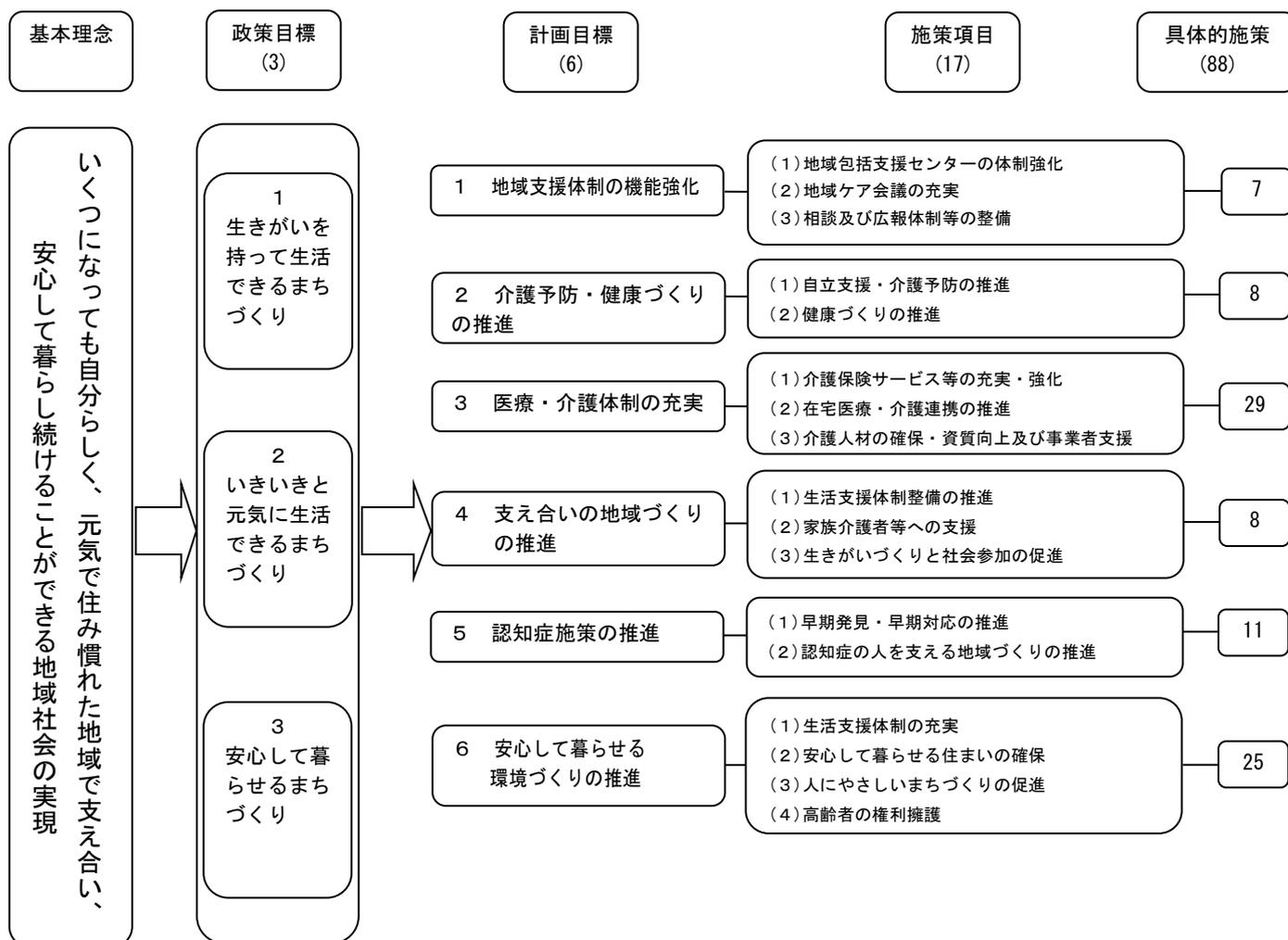
## 1 計画概要

本計画は、老人福祉法第20条の8第1項の規定による「老人福祉計画」と介護保険法第117条第1項の規定による「介護保険事業計画」を一体的に策定したものであり、3年を1期とし、高齢者に関する各種の福祉事業及び介護保険制度の円滑な実施に関する総合的な計画として、取り組む課題を明らかにし、目標等を定めるものです。

計画期間は令和6年度から令和8年度までとし、地域支援体制の機能強化、介護予防・健康づくりの推進、医療・介護体制の充実、支え合いの地域づくりの推進、認知症施策の推進、安心して暮らせる環境づくりの推進を計画目標としています。

## 2 施策体系

本計画では、次の体系に区分する全88施策を実施することとしており、介護保険給付サービス等については、48の指標を掲げています。



### 3 進捗状況

#### (1) 把握方法

具体的施策について、令和6年度の実施状況を確認するため、所管する担当課等に照会し、確認しました。

#### (2) 評価方法

計画期間における評価を次の「A～D」の4段階で評価を行いました。

A：実施または目標値達成（90%以上）

B：概ね実施（70%～89%）

C：一部実施（30%～69%）

D：未実施（29%以下）

また、各施策の今後の方向性について、「維持」、「拡充」、「縮小」、「廃止」から選択しました。

#### (3) 集計結果 ※進捗状況の詳細は別表1のとおり。

令和6年度の具体的施策の進捗状況の評価結果は、下表のとおりです。

評価については、「A：実施または目標値達成」が86件（97.7%）、「B：概ね実施」が2件（2.3%）と、概ね計画どおりに進捗しています。

今後の方向性については、「維持」が79件（89.8%）、「拡充」が9件（10.2%）となっています。

（具体的施策の評価）

No.	計画目標	評価				今後の方向性			
		A	B	C	D	維持	拡充	縮小	廃止
1	地域支援体制の機能強化	7	0	0	0	7	0	0	0
2	介護予防・健康づくりの推進	8	0	0	0	7	1	0	0
3	医療・介護体制の充実	28	1	0	0	25	4	0	0
4	支え合いの地域づくりの推進	8	0	0	0	8	0	0	0
5	認知症施策の推進	11	0	0	0	8	3	0	0
6	安心して暮らせる環境づくりの推進	24	1	0	0	24	1	0	0
合計（88 施策）		86	2	0	0	79	9	0	0
割合（%）		97.7	2.3	0.0	0.0	89.8	10.2	0.0	0.0

#### (4) 評価が「B」となった具体的施策の理由と今後の取組

計画目標	具体的施策	評価	理由	今後の取組
医療・介護体制の充実	介護保険サービスの基盤整備	B	令和6年度、介護老人福祉施設1施設(定員60名)、認知症対応型共同生活介護施設(合計定員27名)を公募したが、認知症対応型共同生活介護(定員9名)の応募がなかったため。	令和7年度中に再公募を行い、1法人から応募があったため、令和8年度中に整備できる見通しである。
安心して暮らせる住まいの確保	在宅支援サービス(ホームヘルプサービス)	B	職員不足のため、新規依頼を受け入れできないことがあったため。	「ほっとす」が実施する介護保険外のサービスであるが、利用希望に応えられるよう介護人材確保に努める。

#### (5) 今後の方向性が「拡充」となった具体的施策

計画目標	具体的施策	今後の取組内容
介護予防・健康づくりの推進	認知症予防の推進	認知症予防と虚弱状態の予防を目的として、高齢者補聴器購入費等助成事業を令和7年度から事業を開始しており、今後も認知症予防を推進する。
介護・医療体制の充実	介護保険サービスの基盤整備	要支援・要介護認定者数は今後も増加すると推計しており、これに応じた介護保険サービスの体制整備を行う。
	介護人材の確保・育成(就職相談会)	就職相談会は、求職者と事業者をマッチングする貴重な機会となっており、今後も必要な介護人材確保のため強化する。
	介護人材の確保・育成(外国人労働者の受入れ支援)	外国人を採用するためのセミナー開催や相談体制を整備し、外国人介護人材の確保や育成、定着につながる取り組みを推進する。
	介護DXの推進	介護人材不足を補うため、介護ロボットやICT機器の導入など、介護職員の業務負担を軽減する取組を推進する。
認知症の人を支える地域づくりの推進	認知症の正しい知識の普及・啓発	認知症に関する講座やデジタルツールを活用した体験型イベントなど、認知症の正しい知識の普及・啓発の取り組みを推進する。
	認知症の人本人からの発信支援	本人の個性や能力に応じた発信や本人同士の交流を支援することで、共生社会の実現を目指すとともに本人の声を施策に反映する。
	チームオレンジの構築	認知症の人が自分らしく生活できるようチームオレンジの活動を推進する。
安心して暮らせる住まいの確保	在宅支援サービス(緊急通報システム事業)	利用者拡大のため携帯端末の導入を目指しており、令和8年度からの導入の予定である。

## (6) 介護保険サービス量の供給状況

介護保険サービス量の計画値（サービス利用見込量）を掲げた施策の供給状況は、別表2のとおりです。

介護保険サービスの供給状況は、概ね計画どおりに進捗していますが、施設サービスのうち「介護老人保健施設」は、令和7年1月末に市内1施設の廃止があったため供給率が低くなっており、これは令和7年度以降も計画値より低くなることが想定されます。

また、全体として、要介護者を対象とする居宅サービスは計画値を下回り、要支援者を対象とする介護予防サービスは計画値を上回っています。これは、本計画の推計値よりも介護度の高い方が減り、介護度の低い要支援者の方が増加していることが要因であると分析しています。

### 【添付資料】

- ・ 第9期計画における具体的施策の進捗状況（令和6年度）（別表1）
- ・ 介護保険サービスの供給状況（別表2）

## 第9期計画における具体的施策の進捗状況（令和6年度）

【計画目標1 地域支援体制の機能強化】

施策項目1 地域包括支援センターの体制強化

具体的施策	(1) 総合相談支援業務	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービス、関係機関及び制度の利用につなげる等の支援を行います。 高齢者やその家族、地域の関係者、医療関係者、介護サービス事業者などからの様々な相談に対応し、市民に身近な相談拠点として、また、介護・福祉・医療等の関係者からの相談機関として、相談体制の充実を図ります。		
評価年度における 取組内容等	地域包括支援センターの相談受付件数は、5,439件となり、高齢者やその家族、地域の関係者、医療関係者、介護サービス事業者などからの様々な相談に対応し、必要に応じて適切なサービス、関係機関及び制度の利用につなげる支援を行いました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持
具体的施策	(2) 権利擁護業務	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	認知症や虐待事例など専門的な支援を必要とする相談が増加しています。認知症地域支援推進員や千歳市成年後見支援センター等の関係機関と連携しながら、権利侵害の予防や防止の支援を専門的に行い、高齢者が地域において尊厳ある暮らしを維持できるよう必要な支援を行います。		
評価年度における 取組内容等	認知症や虐待事例など専門的な支援を必要とする相談に対応し、認知症地域支援推進員や千歳市成年後見支援センター等の関係機関と連携しながら、権利侵害の予防や防止の支援を専門的に行いました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持
具体的施策	(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	居宅介護支援事業所のケアマネジャーが、高齢者やその家族に包括的・継続的に支援していくことができるよう、ケアマネジャーへの支援を行います。 また、市内の主任介護支援専門員の協力を得ながら、ケアマネジャーの資質向上に向けた研修会等の取組を行っています。		
評価年度における 取組内容等	居宅介護支援事業所のケアマネジャーからの要請を受けて延べ80回介護保険サービス担当者会議に出席し、連携体制構築及び個別事例に関する助言を行いました。 また、相談に応じた助言や社会資源の紹介、同行支援をはじめとした後方支援、「障がいと介護の連携について」をはじめとした研修会を開催し、市内の介護支援専門員の資質向上にも努めました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持
具体的施策	(4) 介護予防ケアマネジメント業務	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	基本チェックリスト該当者等の介護予防・日常生活支援総合事業利用者に対して、介護予防及び日常生活支援を目的として、その心身の状況等に応じて、対象者自らの選択に基づき、訪問型サービス、通所型サービス、その他の生活支援サービス等適切な事業が包括的・効率的に実施されるよう必要な支援を行います。		
評価年度における 取組内容等	総合事業に関する「介護予防ケアマネジメント業務」を延べ4,355件、予防給付に関する「予防給付ケアマネジメント」を延べ7,926件実施し、利用者の心身状況に応じた適切な介護サービス利用につながるよう支援しました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

## 施策項目2 地域ケア会議の充実

具体的施策	(1) 地域ケア会議の充実	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	地域の共通する課題に対し、地域包括支援センターが地域ケア会議を開催することにより、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員等の専門職のほか、介護サービス事業者などの関係者が協働して解決に向け検討を行います。 また、そのノウハウの蓄積や課題を共有し、ネットワークづくりや地域づくり、地域資源の開発、政策形成等につなげる等、「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向け地域ケア会議の充実に努めます。		
評価年度における 取組内容等	地域ケア個別会議を延べ24回実施し、ネットワークづくりや地域づくり、個別課題の検討による市内介護福祉従事者のノウハウ蓄積を通じて、地域包括ケアシステムの深化・推進を図りました。また、市全域で共通する課題の把握・分析に資するため、圏域ごとの地域課題の抽出にも継続的に努めました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

## 施策項目3 相談及び広報体制等の整備

具体的施策	(1) 相談体制	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	地域包括支援センターや介護予防センターでは、高齢者の相談に対応する社会福祉士等の専門職を配置しており、高齢者の総合相談窓口としての機能を果たしていきます。 認知症疾患医療センターと千歳市北区地域包括支援センターには、認知症地域支援推進員を配置しており、増加する認知症高齢者に対応する相談のほか、生活支援コーディネーターが関わり地域で運営している「ちょこっと茶屋」「いぶすき茶屋」「げんき茶屋」などでは、地域包括支援センター職員や認知症地域支援推進員、生活支援コーディネーターが日常生活上の困りごとに関する相談などを受けており、身近な場所でも相談が受けられる体制構築を進めています。 また、こころの不調の相談に対しては、一人で悩みを抱え込まないよう専門の相談先の周知を行います。 さらに、複合・複雑化した支援ニーズに対応するため「重層的支援体制」の構築について、関係部署との連携を強化し、行政の垣根を超えた支援体制の整備を目指します。		
評価年度における 取組内容等	地域包括支援センター開設日及び開設時間は電話、窓口への来所、訪問、文書等での相談を受け付けられるよう体制を整備しているほか、開設日以外にでも緊急時の連絡が取れるよう、社用携帯の配備などによる相談体制の整備を行っております。また、町内会や生活支援コーディネーターが関わって運営している通いの場等に無料相談ブースを設け、センター窓口以外でも相談を受け付けられる体制を拡充しました。受け付けた相談は介護予防センターや認知症地域支援推進員、重層的支援体制に係る機関と双方向的に共有し、適切な支援提供に努めています。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) 広報体制	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	高齢者に関する保健・医療・福祉及び介護保険について、市民が必要とする情報を広報ちとせや市のホームページ、市公式SNSなどを通じて積極的に提供します。 また、市役所窓口や地域包括支援センター及び各種相談窓口において、「ちとせの介護保険・保健福祉サービスガイド」を提供し、介護保険制度の理解を深めていただくとともに、市の高齢者施策の普及を図ります。		
評価年度における 取組内容等	市が行う高齢者向けの事業や保健・医療・福祉に関する各種取組について、市ホームページや広報ちとせ、市公式SNSを中心に情報を発信しました。 また、「ちとせの介護保険・保健福祉サービスガイド」を3,000部発行し、市役所窓口や地域包括支援センターに設置したほか、「ちとせの介護保険サービス等事業者一覧」を毎月更新し、介護保険制度や介護保険サービス等の周知に努めました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

【計画目標2 介護予防・健康づくりの推進】

施策項目1 自立支援・介護予防の推進

具体的施策	(1) 介護予防・生活支援サービス事業の推進	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	要支援者等の多様な生活支援ニーズに、よりきめ細やかに対応するため、既存の介護サービス事業者や住民等の地域の多様な主体を活用して高齢者を支援します。 介護予防・生活支援サービス事業では、要支援者に加えて生活機能の状態を調べる基本チェックリストを受けた結果、生活機能の低下がみられた方を対象に、訪問型サービスや通所型サービスと併せてその他の生活支援サービスを実施することとなります。 訪問型サービスや通所型サービスでは、旧介護予防給付相当の訪問介護及び通所介護に加えて、身体介護を含まないサービスに限定した訪問型サービスA及び通所型サービスAを設定しています。 また、その他の生活支援サービスでは、見守りや配食のほか、千歳市社会福祉協議会が「暮らしのちょっと応援サービス事業(ヤマセミねっと)」などの高齢者の日常生活を支援するサービスを実施しており、今後も生活支援体制の充実に努めます。		
評価年度における 取組内容等	要支援認定者および基本チェックリスト該当者を対象に、旧介護予防給付相当の訪問型サービスを延べ2,763件、旧介護予防給付相当の通所型サービスを延べ5,606件提供し、利用者の介護ニーズに対応しました。また、シルバーハウジングへの生活援助員派遣や訪問給食サービス、「暮らしのちょっと応援サービス事業(ヤマセミねっと)」を継続して実施し、地域生活の継続に資する見守り体制の強化と多様な生活支援ニーズへの対応も行っております。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) 介護予防ケアマネジメントの推進	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	介護予防・生活支援サービス事業では、従来の地域包括支援センターによる介護予防ケアマネジメントに基づき、介護予防・生活支援サービス事業と一般介護予防事業で構成される各事業を組み合わせ実施することとなります。要支援認定者となる高齢者の状態や環境等に応じてふさわしいサービスが選択できるようケアプランを作成し、在宅生活が継続できるよう支援します。		
評価年度における 取組内容等	介護予防・生活支援サービス事業としての介護予防ケアマネジメントを5包括合計で4,355件実施し、在宅生活の継続に必要なサービスの選定に寄与しました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(3) 認知症予防の推進	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	認知症高齢者は令和7年度には全国で700万人を超えると推計され、その後も増加すると見込まれており、「認知症になるのを遅らせる」、「認知症になっても進行を穏やかにする」認知症予防を推進することが重要とされています。 「適度な運動」、「バランスの取れた食事」、「社会活動への参加」が認知症予防に効果があると言われていることから、既に実施している「介護予防事業」のほか、「高齢者の栄養ケアのサポートを目的とした事業」や聴こえ難さの問題を抱える方の「社会参加につながる事業」について検討します。		
評価年度における 取組内容等	認知機能低下の予防を目的とした認知症予防サポート教室を実施し、22名の参加があったほか、介護予防教室において、いきいき百歳体操や栄養改善講話を実施しました。また、聴こえ難さの問題を抱える方の「社会参加につながる事業」として、高齢者補聴器購入費助成事業の実施について検討しました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	拡充

施策項目2 健康づくりの推進

具体的施策	(1) 介護予防普及啓発事業	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	介護予防教室や認知症サポーター養成講座などを通して、介護予防知識の向上に努めます。また、広報ちとせや出前講座、ノルディックウォーキング体験イベントなどを通じて介護予防の普及啓発に努めます。		
評価年度における 取組内容等	介護予防教室を市内10会場にて合計120回行い、延べ2,601名が参加しました。 地域で認知症の方を見守るサポーターを養成する認知症サポーター養成講座は市民を対象に13回開催し、延べ466名が修了するなど、地域全体の介護予防に対する普及啓発と意識醸成にも努めました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) 地域介護予防活動支援事業	担当	高齢者支援課
	① 地域介護予防活動支援事業		
第9期計画 取組内容	高齢者の自主的な活動を支援することで、心身機能の向上、やりがい、社会参加等の創出を行い、地域での介護予防活動を推進します。		
評価年度における 取組内容等	高齢者が中心となって市内で自主的に活動する24団体に対して助成金の交付を行い、高齢者の社会参加機会の増加、創出による介護予防の推進に寄与しました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) 地域介護予防活動支援事業	担当	高齢者支援課
	② 介護予防サロン事業		
第9期計画 取組内容	高齢者が住み慣れた地域でいつまでも暮らすことができるよう、町内会等の地域単位で自主的に行う介護予防活動を支援し、元気な高齢者を増やすための仕組みづくりを目指します。 市が実施する介護予防リーダー養成講座を修了した介護予防リーダーが、地域に住む高齢者に対して、市が指定する介護予防活動を行った場合に助成を行っています。		
評価年度における 取組内容等	町内会等の単位で組織した介護予防サロン(52団体)に対して巡回支援と助成を行い、円滑な運営と活動の推進に寄与しました。 また、介護予防サロンの活動の中心となる介護予防リーダーを養成する介護予防リーダー養成講座を実施し、15名が修了しております。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) 地域介護予防活動支援事業	担当	高齢者支援課
	③ きずなポイント事業		
第9期計画 取組内容	きずなポイント事業の受け入れ施設として登録している高齢者施設及び子育て支援施設等において、高齢者がボランティアとして介護支援や子育て支援を行った場合にポイントを付与します。そのポイントを還元することにより、高齢者の地域貢献を積極的に奨励・支援し、本人の健康増進や社会参加活動を通しての介護予防の効果が期待できるため、元気な高齢者の知識や経験を生かしながら、生きがいづくりを促進する仕組みを構築するとともに、高齢者がボランティア活動を始めるきっかけづくりとして事業を実施していきます。		
評価年度における 取組内容等	市内で指定された施設等にてボランティア活動を行った市民に対してポイントを付与し、社会参加の促進と意欲の向上に努めました。令和6年度は登録者147名中119名に対し、累計395ポイントを付与しております。 また、従来は登録施設での活動のみをポイント付与の対象としておりましたが、製作依頼のあった成果物(手編みの認知症マップなど)を在宅で作成・納品することでもポイント付与が受けられるよう事業内容を見直し、より多くの方がボランティア活動に参加できるよう努めました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(3) 地域リハビリテーション活動支援事業	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	通所介護事業所への支援、地域ケア会議への参加、任意団体への支援など、地域における介護予防の取組にリハビリテーション専門職等の関与を促進します。 また、高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できるよう、リハビリテーション専門職の立場から住宅改修等の助言を行います。		
評価年度における 取組内容等	介護事業所や地域の通いの場において体力測定等を行い、リハビリテーション専門家からの生活指導や運動指導を行うなど、地域生活を継続するための支援を計27回行いました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

## 【計画目標3 医療・介護体制の充実】

## 施策項目1 介護保険サービス等の充実・強化

具体的施策	(1) 介護保険サービスの基盤整備	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	<p>介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう、安定した介護保険サービスの提供体制を維持するとともに、その充実を図ることが必要です。</p> <p>介護保険サービスは、事業者からの申請により、北海道又は市が指定等を行った施設や事業者が提供します。</p> <p>第8期計画では、市が指定することができる地域密着型サービスのうち、重点整備予定としていた認知症対応型共同生活介護4事業所(定員63名)、看護小規模多機能型居宅介護2事業所(定員58名)を指定し、介護保険サービスの基盤となる整備を進めました。</p> <p>第9期計画では、「介護老人福祉施設」及び「(介護予防)認知症対応型共同生活介護」について、重点的に整備を進め、介護保険サービスの提供体制を強化します。</p>		
評価年度における 取組内容等	第9期計画で重点整備予定としている「介護老人福祉施設」1事業所(定員60名)、「(介護予防)認知症対応型共同生活介護」2事業所(合計定員27名)について公募を行い、その結果、介護老人福祉施設1事業所(定員60名)及び(介護予防)認知症対応型共同生活介護1事業所(定員18名)は、整備事業予定者を決定しました。応募のなかった(介護予防)認知症対応型共同生活介護1事業所(定員9名)は、令和7年度中に再公募を行います。		
進捗状況 (評価)	B	今後の方向性	拡充
具体的施策	(2) 介護保険サービスの質的向上	担当	高齢者支援課
	① 介護給付等適正化事業		
第9期計画 取組内容	<p>介護給付費の適正化の推進は、介護保険制度の信頼感を高め、持続可能な制度運営につながることから積極的な取組が必要です。このため、北海道国民健康保険団体連合会(国保連)が提供する給付情報等を活用し、介護給付の効率化や適正化に努めます。</p>		
評価年度における 取組内容等	<p>要介護認定の適正化、ケアプラン等の点検、医療情報との突合及び縦覧点検いずれも、適切かつ公平に点検を行い、給付の適正化につなげることができています。</p>		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持
具体的施策	(2) 介護保険サービスの質的向上	担当	高齢者支援課
	② 情報提供体制		
第9期計画 取組内容	<p>市民が必要とする介護情報について、広報ちとせや市のホームページのほか、「ちとせの介護保険・保健福祉サービスガイド」等を作成し、市役所窓口のほか地域包括支援センター、介護サービス事業所等の身近な機関で情報入手ができるよう、情報提供体制の整備を図ります。</p> <p>また、利用者が適切に介護サービスを選択できるよう、全ての介護サービス事業者に介護サービスの内容や運営状況に関する情報を公表することが義務付けられており、その情報は北海道介護サービス情報公表センターのホームページにより公表されているため、利用者に対して積極的に周知を図ります。</p>		
評価年度における 取組内容等	<p>「ちとせの介護保険・保健福祉サービスガイド」を発行したほか、介護保険サービス等事業者一覧を毎月更新し、市役所窓口での配布や市ホームページにおいて周知を図りました。</p>		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持
具体的施策	(2) 介護保険サービスの質的向上	担当	高齢者支援課
	③ 外部評価及び自己評価		
第9期計画 取組内容	<p>介護サービス利用者が適正な情報を得ることができるよう、独立行政法人福祉医療機構が運営する福祉・保健・医療の総合情報サイト「WAMNET(ワムネット)」で、認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)について、「自己評価及び外部評価結果」及び「目標達成計画」が公開されています。これにより、介護保険サービス事業者の運営状況の把握と的確な情報提供に努めます。</p>		
評価年度における 取組内容等	<p>「WAMNET」において、認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)の「自己評価及び外部評価結果」及び「目標達成計画」を確認しました。また、運営指導においても介護保険サービスの質的向上が図られるよう、外部評価及び自己評価の実施状況について確認、助言を行いました。</p>		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) 介護保険サービスの質的向上	担当	高齢者支援課
	④ 地域密着型サービス事業者及び居宅介護支援事業者の指定・指導・監査		
第9期計画取組内容	介護保険サービスについて、サービスの質を確保するため、市は、事業者に対して運営指導や必要に応じて監査を実施し、給付及び請求の内容など事業の運営が健全かつ円滑に行われるよう指導するとともに、利用者の自立支援及び尊厳の保持を念頭において、ケアの質の向上及び保険給付費の適正化に努めます。		
評価年度における取組内容等	令和6年度は、17施設(事業)に対して運営指導を行いました。また、集団指導を行い、介護報酬など制度改正の内容や過去の指導事例などについて、周知を図りました。		
進捗状況(評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) 介護保険サービスの質的向上	担当	高齢者支援課
	⑤ 苦情申立に対する対応		
第9期計画取組内容	介護サービス利用者等からの苦情申し立てなどの相談体制については、本市の窓口で対応するほか、北海道や北海道国民健康保険団体連合会と連携を取りながら、利用者の支援を行い、問題の早期解決に努めます。		
評価年度における取組内容等	介護サービス利用者等からの苦情申し立てはありませんでしたが、苦情や相談を受けた場合には、関係機関と情報共有を図り、適切に相談機関につなぐなど対応を行いました。		
進捗状況(評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) 介護保険サービスの質的向上	担当	高齢者支援課
	⑥ 介護職の知識・技術の向上		
第9期計画取組内容	千歳市在宅医療・介護連携センターにおいて、医療と介護の連携を目的とした研修(ちとせの介護医療連携カレッジ)を開催しており、市内の経験のある専門職が講師となり、介護技術、摂食・嚥下障害ケア、相談援助、若手従事者キャリアアップ、労務管理・職場環境改善、在宅医療・在宅ケアなどのコースで職種に合った内容の研修となっています。これらの研修を活用し介護職の知識・技術の向上に努めます。		
評価年度における取組内容等	ちとせの介護医療連携カレッジは、「ちとせのチームケアコース」と「介護・医療連携スキルアップコース」の2コースを各4回開催しました。また、ちとせの介護医療連携の会が開設した認定栄養ケアステーションを中心に、「高齢者と栄養」をテーマとした研修会や嚥下調整食調理実習を計4回行いました。		
進捗状況(評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(3) 介護保険サービスの低所得者対策	担当	高齢者支援課
	① 障がい者訪問介護支援措置		
第9期計画取組内容	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の規定によるホームヘルプサービスの利用において、生活保護の境界層該当として定率負担額が0円となっている方のうち、介護保険制度における訪問介護、介護予防訪問介護又は夜間対応型訪問介護等の利用への円滑な移行を図るため、訪問介護等に係る費用の負担軽減を図るものです。		
評価年度における取組内容等	令和6年度は予算措置をしたものの利用実績はありませんでしたが、引き続き該当者の費用負担軽減を図ってまいります。		
進捗状況(評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(3) 介護保険サービスの低所得者対策	担当	高齢者支援課
	② 社会福祉法人等による利用者負担軽減の補助		
第9期計画取組内容	低所得者で生計が困難である方について、介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人等が、特別養護老人ホーム、訪問介護(ホームヘルプサービス)、通所介護(デイサービス)、短期入所生活介護(ショートステイ)等の利用者負担を軽減するもので、社会福祉法人等に対する一部助成(補助)を実施します。		
評価年度における取組内容等	当該負担軽減措置の更新対象者に対しては、軽減措置を継続的に受けられるよう本市から事前に勧奨通知として更新手続きの案内をするとともに、軽減措置が適用となる市内社会福祉法人と連携し、既存入所者のほか新規入所者への申請手続きにかかる指導等の協力を依頼しながら事業を実施しました。		
進捗状況(評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(3) 介護保険サービスの低所得者対策	担当	高齢者支援課
	③ 生活福祉資金貸付制度		
第9期計画 取組内容	日常生活上介護を必要とする65歳以上の高齢者の属する世帯及び低所得世帯を対象に、サービス利用料、介護保険料、施設サービス利用時の食事標準負担額等の経費の貸付を実施する制度です。		
評価年度における 取組内容等	介護保険サービスを必要とする高齢者等が適切に利用できるよう、日常生活上介護を必要とする65歳以上の高齢者の属する世帯など低所得世帯を対象に、サービス利用料、介護保険料、食事標準負担等に相当する額を貸付を行うため相談窓口を開設しています。(介護保険サービスなどに関わる貸付実績は無し)		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(3) 介護保険サービスの低所得者対策	担当	高齢者支援課
	④ 受領委任払い		
第9期計画 取組内容	高額介護(介護予防)サービス費、福祉用具購入費及び住宅改修費について、サービス利用者の一時的な経済負担の軽減を図るため、利用者は自己負担額のみ支払い、残額については事業者が直接市から支払を受ける受領委任払いを実施するものです。		
評価年度における 取組内容等	低所得者対策として、サービス利用者の一時的な経済負担の軽減を図り、受領委任払いを実施しました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(3) 介護保険サービスの低所得者対策	担当	高齢者支援課
	⑤ 高額介護(介護予防)サービス費		
第9期計画 取組内容	介護サービスの利用者が1か月に支払った1割負担分(住宅改修費等を除く)が一定の上限(負担限度額)を超えたとき、利用者の申請により高額介護サービス費として超えた分が払戻されます。		
評価年度における 取組内容等	高額介護(介護予防)サービス費については、申請により負担限度額を超過した分を利用者に対して払戻しています。そのほか、高額介護(介護予防)サービス費の対象となりますが、未申請の利用者に対して勧奨通知を行い負担軽減を促しました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(3) 介護保険サービスの低所得者対策	担当	高齢者支援課
	⑥ 高額医療合算介護(介護予防)サービス費		
第9期計画 取組内容	平成20年4月からの後期高齢者医療制度創設に伴い、医療費と介護保険サービスの自己負担額が著しく高額となった場合、利用者の申請に基づき、一定の自己負担額を超える部分について払戻されます。		
評価年度における 取組内容等	高額医療合算介護(介護予防)サービス費については、申請により負担限度額を超過した分を利用者に対して払戻しています。また、高額医療合算介護(介護予防)サービス費の対象となる者に対して申請を促し負担軽減を図りました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(3) 介護保険サービスの低所得者対策	担当	高齢者支援課
	⑦ 特定入所者介護(介護予防)サービス費		
第9期計画 取組内容	介護保険施設の入所者や短期入所サービスを利用する方のうち市民税非課税世帯の利用者について、申請に基づき、食費・居住費(滞在費)を補助します。		
評価年度における 取組内容等	当該負担軽減措置の更新対象者に対しては、軽減措置を継続的に受けられるよう本市から事前に勧奨通知として更新手続きの案内をするとともに、軽減措置が適用となる市内事業所と連携し、既存入所者のほか新規入所者への申請手続きにかかる指導等の協力を依頼しながら事業を実施しました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

施策項目2 在宅医療・介護連携の推進

具体的施策	(1) 医療と介護の一体的な提供に向けた取組	担当	高齢者支援課
	① 地域の医療・介護の資源の把握		
第9期計画 取組内容	市内の医療機関・介護事業所のマップやパンフレット等の資源リストの活用や、ケアマネジャー等が必要とする介護保険事業所等の詳細な情報を把握し、リスト化してパンフレットやホームページに掲載するなどの取組を行います。		
評価年度における 取組内容等	市内の介護保険事業所や高齢者福祉事業所情報について、社会資源マップにてしない高齢者福祉サービス事業所一覧を作成し、ホームページに掲載しました。併せて介護保険サービスの利用料や施設の選び方などについて、利用者目録で作成し、ホームページに掲載しました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 医療と介護の一体的な提供に向けた取組	担当	高齢者支援課
	② 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討		
第9期計画 取組内容	特定非営利活動法人ちとせの介護医療連携の会を中心とした医療職・介護職などの多職種の協力を得ながら、在宅医療・介護連携の課題の抽出やその解決方法等について協議を行います。		
評価年度における 取組内容等	介護・医療分野の多職種で構成される在宅連携部会を年6回開催し、課題の抽出と対応策の検討を行いました。協議した内容を次年度の市民向けフォーラムの内容・従事者向け研修(連携カレッジ)の内容に反映しています。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 医療と介護の一体的な提供に向けた取組	担当	高齢者支援課
	③ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進		
第9期計画 取組内容	研修時のグループワークやレクリエーション等の実施により、多職種の「顔の見える関係」を構築するなど、在宅医療と介護が切れ目なく一体的に提供できる体制の構築に向けた取組を進めていきます。		
評価年度における 取組内容等	従事者向け研修会「ちとせの介護医療連携カレッジ」及び多職種での意見交換を目的とした「ケアカフェ」を実施し、各テーマに基づいた情報交換やグループワークを通じて多職種間の「顔の見える関係」を築きました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 医療と介護の一体的な提供に向けた取組	担当	高齢者支援課
	④ 地域住民への普及啓発		
第9期計画 取組内容	在宅での看取りなどをはじめとした在宅医療と介護の連携について、地域連携フォーラム、在宅医療をテーマにした映画上映会、出前講座などにより地域住民への普及啓発に努めます。		
評価年度における 取組内容等	令和6年度は、「介護医療連携フォーラム」を開催し、「老後の備えと食からつながる健康を考えよう」をテーマにそれぞれ「老後のお金の備えと相続について」、「フレイル(虚弱)予防と食事・栄養ケアの重要性について」を時間帯を分けて実施しました。80名が参加したほか、開催後のYoutubeでのアーカイブ配信では185名の視聴がありました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) 在宅医療・介護の連携体制整備	担当	高齢者支援課
	① 医療・介護関係者の情報共有の支援		
第9期計画 取組内容	千歳市在宅医療・介護連携支援センターにおいて、医療機関とケアマネジャーが情報を共有するための共通様式を作成し、市内居宅介護支援事業所に配布するとともに、医療機関にも周知を行っています。 多くの居宅介護支援事業所において共通様式の利用等により、医療機関との情報の共有が図られるよう推進していきます。		
評価年度における 取組内容等	NPO法人ちとせの介護医療連携の会が作成した、入退院時における共通情報提供書をホームページ内に掲載しています。 また、千歳市医療介護ICTネットワーク(バイタルリンク)の説明会を実施、導入支援および利用事業所への支援を行い、在宅診療機関と介護サービス事業所との情報共有支援を継続しています。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) 在宅医療・介護の連携体制整備	担当	高齢者支援課
	② 在宅医療・介護連携に関する相談支援		
第9期計画 取組内容	千歳市在宅医療・介護連携支援センターにおいて、医療・介護関係者等からの連携に係る相談の受付及び情報提供を行います。		
評価年度における 取組内容等	千歳市在宅医療・介護連携支援センターに医療と介護連携をコーディネートする相談員を配置し、医療・介護関係者、地域包括支援センターからの相談の受付及び情報提供を行いました。令和6度は地域の医療介護従事者等から112件の相談がありました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) 在宅医療・介護の連携体制整備	担当	高齢者支援課
	③ 医療・介護関係者の研修		
第9期計画 取組内容	千歳市在宅医療・介護連携支援センターでは、「ちとせの介護医療連携カレッジ」を開設し、「摂食・嚥下障害ケア」、「相談援助・マネジメント」、「労務管理・職場環境改善」、「在宅医療・在宅ケア」の研修を実施するなど、医療・介護関係者などの多職種を対象とした様々な研修を実施しています。 今後も「顔の見える関係」の構築や多職種のスキルアップを目指した様々な研修を実施していきます。		
評価年度における 取組内容等	「ちとせの介護医療連携カレッジ」では、「ちとせのチームケアコース」と「介護・医療連携スキルアップコース」の2コースを各4回開催し、延べ304人の地域の専門職が参加しました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(3) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	千歳市在宅医療・介護連携支援センターでは、情報交換や共同事業の実施を目的に、恵庭市在宅医療・介護連携支援センターと定期的に会議を実施しています。 今後も近隣自治体との意見交換や、共同イベントの開催などを実施していきます。		
評価年度における 取組内容等	恵庭市在宅医療介護連携支援センター 連携センターりんくど協力し、災害対策に関する研修会を年2回実施、机上訓練及びグループディスカッションを行い、2回の開催で延96名参加したほか、在宅医療に関するハンドブックを共同で作成しました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

施策項目3 介護人材の確保・資質向上及び事業者支援

具体的施策	(1) 介護人材の確保・育成	担当	高齢者支援課
	① 就職相談会		
第9期計画 取組内容	ハローワークや市内事業所と連携して就職相談会を開催し、求職者のニーズに合った職場選択や、キャリアアップなどについての相談体制を整えます。		
評価年度における 取組内容等	ハローワークや市内事業所と連携し、就職相談会「お仕事万博」を年2回実施し、6名が市内事業所に就職しました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	拡充

具体的施策	(1) 介護人材の確保・育成	担当	高齢者支援課
	② 無料職業紹介事業		
第9期計画 取組内容	求職者が長期的に医療や介護職として就労できるように、就職先との適切なマッチング、就職前後のキャリアコンサルティング等を実施します。		
評価年度における 取組内容等	NPO法人ちとせの介護医療連携の会と協力し、無料職業紹介事業を実施し、1名が市内事業所への就職につながりました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 介護人材の確保・育成	担当	高齢者支援課
	③ 人材育成事業		
第9期計画 取組内容	「介護職員初任者研修」、「介護福祉士受験対策講座」、「介護支援専門員受験対策講座」などの資格取得支援のほか、千歳市在宅医療・介護連携支援センターで実施する「ちとせの介護医療連携カレッジ」では、若手従事者を対象とした研修や専門職を対象とした多様な内容の研修会を継続して実施します。		
評価年度における 取組内容等	NPO法人ちとせの介護医療連携の会が「介護職員初任者研修」を開催し、28名が修了しました。また、「介護福祉士受験対策講座」は5名が受講、「介護支援専門員受験対策講座」は、延べ56名が受講しました。 このほか、「ちとせの介護医療連携カレッジ」では、「ちとせのチームケアコース」と「介護・医療連携スキルアップコース」の2コースを各4回開催し、延べ304人を超える地域の専門職が参加しました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 介護人材の確保・育成	担当	高齢者支援課
	④ 職場環境改善支援		
第9期計画 取組内容	市内事業所の職員採用や離職防止に関する相談支援を実施します。また、市内事業所のリーダー、マネージャー向けの研修会、情報交換会を実施し、職場環境の改善を支援します。		
評価年度における 取組内容等	市内事業所の職員採用や離職防止に関する相談を随時受付、必要に応じて助言などの支援を行いました。また、介護現場の業務効率化と利用者支援の質の向上を目指すため、ICTやAIの活用を紹介するセミナーを開催しました。(9社の展示、来場者69名)		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 介護人材の確保・育成	担当	高齢者支援課
	⑤ 介護のしごと魅力アップ推進事業		
第9期計画 取組内容	小中学校等における「福祉体験事業の開催」や介護の技術や知識を競う「介護グランプリ」の開催のほか、市内事業者をPRするための動画を作成し、インターネット上で公開することや、SNSの活用、お仕事マップの作成などを行い、事業所PR活動の支援を行います。		
評価年度における 取組内容等	小中学校を訪問し、福祉に関する講義や高齢者疑似体験を実施しました。(市内小中学校5校、6回実施 延441名参加) また、第7回ちとせ介護グランプリを開催し、介護クイズ王決定戦や出場チームの事業所PRを行いました。(11事業所・17チームが出場、当日202名来場、YoutubeLive32アカウント視聴、アーカイブ動画視聴数791回(3/31時点))		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 介護人材の確保・育成	担当	高齢者支援課
	⑥ 外国人労働者の受入れ支援		
第9期計画 取組内容	国や北海道からの情報や受入れ実績のある事業者の情報を提供するなどの支援を行います。		
評価年度における 取組内容等	外国人労働者に関する国や北海道からの情報を市内事業所に周知したほか、外国人人材採用セミナーを開催し、採用スキームやコストの説明のほか、採用事例紹介、Q&A形式での情報交換などを行いました。(当日参加者9名)		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	拡充

具体的施策	(2) 介護DXの推進	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	<p>少子高齢化による社会福祉費用の増大や介護人材不足が深刻な問題となる中、今後も将来にわたって持続可能な社会を実現するため、介護職員等の業務負担の軽減やサービスの質の向上を目指して、ICTやセンサー、パワーアシストなどの介護ロボット等の積極的な導入による介護現場の生産性向上が必要となっています。</p> <p>介護事業所におけるICTや介護ロボットの導入については、導入等に要する費用や、事業者の介護DXに対する理解が進んでいないなどの課題があることから、課題の解消に向け、導入費用に対する補助金等の情報提供のほか、事業者等を対象に研修会を開催するなど、各事業所において介護DXが円滑に進むよう介護事業者を支援します。</p> <p>このほか、国は、介護サービス事業所の指定申請等について、対面を伴わない申請書類の提出を実現させるため、介護サービス情報公表システム内において、電子申請・届出システム利用の実現を目指しています。電子申請・届出システムを利用することで、事業所の文書作成負担を軽減させることが可能となることから、市は、電子申請・届出システムの利用の運用開始に向けて、関係規則の整備や運用フローの作成を行い、各事業所が速やかに開始できるよう支援します。</p> <p>また、介護職員の負担軽減を図り質の高い介護サービスの提供につなげるため、ICTを活用した多職種間において情報を共有するシステムの導入を目指します。</p>		
評価年度における 取組内容等	<p>北海道が実施する介護ロボット導入補助金の周知のほか、介護現場において、ICTやDXの導入促進のため、ICT活用研修や活用事例報告会を開催しました。国が介護事業所の事務負担軽減を目的に普及促進している「ケアプランデータ連携システム」は、NPO法人ちとせの介護医療連携の会が北海道から活用促進モデル事業を受託し、伴走支援などを行いました。</p> <p>介護サービス事業所の指定申請等の手続きに関しては、電子申請・届出システム利用を開始するため、関係規則の整備を行い、令和7年4月から原則このシステムを利用することとして事業者へ周知しました。</p>		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	拡充

【計画目標4 支え合いの地域づくりの推進】

施策項目1 生活支援体制整備の推進

具体的施策	(1) 生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）	担当	高齢者支援課地域支援係
第9期計画取組内容	交流サロンや見守り、生活支援や外出支援等、高齢者の日常生活支援の提供体制の構築のために、千歳市社会福祉協議会に業務を委託し、第1層生活支援コーディネーター及び第2層生活支援コーディネーターを5名配置しています。生活支援コーディネーターは地域支え合い推進員とも呼ばれ、協議体と協力しながら、自分たちのまちをより良くしていくために、地域の様々な活動をつなげ、組み合わせる調整役になります。 社会資源を適切に把握し、地域住民のニーズに合わせた福祉サービスの開発と育成や、地域における新しい福祉ネットワークの構築、地域における支援に関するニーズと取組みのマッチングを行います。		
評価年度における取組内容等	市内の商業施設と連携して開催する「ちよこつと茶屋」などの交流サロン等を67回実施するほか、地域包括支援センターや介護予防センターと連携しながら把握した地域資源の状況をもとに、ガイドブックを作成・配布しました。		
進捗状況（評価）	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) 協議体	担当	高齢者支援課地域支援係
第9期計画取組内容	5か所の日常生活圏域ごとに、生活支援コーディネーター、地域包括支援センター、認知症地域支援推進員、介護サービス事業者、町内会、民生委員等が構成員として第2層協議体を設置しています。地域における介護予防・生活支援サービスに係る関係者のネットワーク化や地域の情報共有、協働により日常生活圏域ごとの実情にあった資源開発を進めていきます。 また、第1層生活支援コーディネーターが中心となり、市全域を対象とする第1層協議体として、各圏域での好事例等を紹介する場の開催や生活支援体制整備事業の周知・啓発等を組織的に支援します。		
評価年度における取組内容等	5か所の日常生活圏域に設置した全ての第2層協議体において、地域課題を抽出する会議を実施しました。この会議を受け、市全域を対象とする第1層協議体として、各圏域での課題の解決につながるアイデアを出し合い、誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくりについて、意見交換を行いました。		
進捗状況（評価）	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(3) 地域包括ケアシステムを支える人材の確保及び養成	担当	高齢者支援課地域支援係
第9期計画取組内容	「暮らしのちよつと応援サービス(ヤマセミねつと)協力者養成講座」、「認知症サポーター養成講座」、「きずなポイント事業参加登録者の促進」等により、高齢者の生活を支援する担い手の養成を行います。		
評価年度における取組内容等	暮らしのちよつと応援サービス(ヤマセミねつと)協力者養成講座や認知症サポーター養成講座を実施しました。また、広報ちとせを活用し、ボランティア募集を呼びかけたほか、対象となるボランティア活動の拡大を検討するなど、きずなポイント事業参加登録者の促進を図りました。		
進捗状況（評価）	A	今後の方向性	維持

施策項目2 家族介護者等への支援

具体的施策	(1) 家族介護者等への相談支援	担当	高齢者支援課地域支援係
第9期計画取組内容	家族介護等への相談支援については、地域包括支援センターがその役割を担っており、介護が必要な方を支援しながら家族の支援も行います。また、認知症の人の家族介護に対しては、地域包括支援センターに加え、認知症地域支援推進員による相談支援や認知症の家族会である千歳認知症の人と共にあゆむ会(はまなすの会)を紹介するなどの支援を行います。 ケアラーや8050問題など、複合・複雑化したニーズに対して、関係部署・関係機関との連携を強化することで、行政の垣根を超えた支援体制の整備を行う重層的支援体制整備事業の実施に向け検討を行います。		
評価年度における取組内容等	地域包括支援センターや認知症地域支援推進員が、介護をされているご家族への相談支援を行うとともに、必要に応じて関係機関との連携を図りながら適切な支援に努めました。また、重層的支援体制整備事業について、関係機関と連携し、令和7年度実施に向けての連絡・調整を行いました。		
進捗状況（評価）	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) 家族介護用品支給事業	担当	高齢者支援課地域支援係
第9期計画 取組内容	非課税世帯で要介護4又は5の状態にある方を在宅で介護している同居の親族に対し、その経済的負担の軽減を図るため、紙おむつ等の介護用品の購入助成を行います。		
評価年度における 取組内容等	延べ27名に助成するほか、事業利用者が商品区分をより分かりやすく理解できるよう、事業対象商品を明確化するなど、本制度の利用促進を図りました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

施策項目3 生きがいづくりと社会参加の促進

具体的施策	(1) 高齢者福祉サービス利用券助成事業	担当	高齢者支援課高齢福祉係
第9期計画 取組内容	高齢者の方の積極的な社会参加を促進するとともに、閉じこもりや寝たきりなどの防止を図るため、7月1日現在において市内に引き続き6か月以上居住し、市民税が非課税となる満75歳以上の高齢者の方を対象に、1人につき、1枚当たり100円の福祉サービス利用券を100枚支給します。 この利用券は、あらかじめ登録されたバス、タクシー(ハイヤー)、公衆浴場、温泉、理容、美容、あんま・マッサージ、はり、きゆうで使用することができるものです。 今後も、高齢者の積極的な社会参加を促せるよう継続して事業を実施します。		
評価年度における 取組内容等	事業の対象となる高齢者に対し、福祉サービス利用券を支給し、高齢者の方の積極的な社会参加を促進しました。 福祉サービス利用券支給者数 6,785人		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) 敬老祝金贈呈事業	担当	高齢者支援課高齢福祉係
第9期計画 取組内容	毎年9月15日現在において、市内に6か月以上引き続き居住し、かつ、住所を有している満100歳の方の長寿を祝福するとともに、社会に貢献した労をねぎらうため、祝金を贈呈します。		
評価年度における 取組内容等	対象となる高齢者に祝金10,000円を贈呈しました。 対象者:23人		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(3) 老人クラブ活動	担当	高齢者支援課高齢福祉係
第9期計画 取組内容	老人クラブは、高齢者の仲間同士がクラブ活動を通じ、暮らしを豊かなものにするるとともに、知識と経験を生かして社会の一員としての役割を果たすことを目的とした自主的団体です。この円滑な活動を支援し、高齢者の健康増進及び社会参加を促すことを目的として、千歳市老人クラブ連合会及び単位老人クラブに補助金を交付します。 また、令和5年度からは、市と千歳市老人クラブ連合会が共同で老人福祉大会を開催しており、今後も高齢者の地域社会への参加の促進と生きがい活動の一助となるよう継続して開催します。		
評価年度における 取組内容等	高齢者の健康増進、社会参加、生きがいづくりを推進するため、千歳市老人クラブ連合会及び単位老人クラブに補助金を交付しました。 また、千歳市老人福祉大会を開催し、高齢者の地域社会への参加を促しました。 老人クラブ加入会員 2,100人		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

【計画目標5 認知症施策の推進】

施策項目1 早期発見・早期対応の推進

具体的施策	(1) 認知症初期集中支援チーム	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	対応の遅れから認知症の症状が悪化し、行動、心理症状等が生じてから、医療機関を受診している例が多く見られます。認知症初期集中支援チームは、初期の段階から医療と介護の複数の専門職がチームとして認知症が疑われる高齢者やその家族を訪問し、その症状にあった対応のアドバイスをします。また、医療や介護サービスにつながない場合には、必要に応じて支援を行う等の早期発見・早期対応の体制を推進します。		
評価年度における 取組内容等	認知症初期集中支援チームによる相談受付件数は22件で、前年度実績から6件増加しました。相談内容に応じて認知症地域支援推進員と連携を図りながら、適切な支援方法をコーディネートし、課題の解決を図りました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) 認知症地域支援推進員	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	認知症地域支援推進員は、認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)の総合的な推進役として「①医療・介護等の支援ネットワークの構築」、「②関係機関と連携した事業の企画・調整」、「③相談支援・支援体制構築」を行います。市では2名の専門職を配置し、地域包括支援センター、認知症疾患医療センター、千歳認知症の人と共にあゆむ会(はまなすの会)、絆の会(地域密着型事業所の職能団体)、千歳市在宅医療・介護連携支援センター、千歳市介護予防センター等の関係機関と連携し、認知症の高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心・安全に過ごすことができるための事業を実施します。		
評価年度における 取組内容等	延べ57件の相談対応を行ったほか、千歳認知症の人と共にあゆむ会(はまなすの会)の定例会への参加や、RUN伴の開催、認知症カフェ(共生型)の運営支援など認知症施策の推進役として活動しました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(3) 若年性認知症施策の推進	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	65歳未満で認知症を発症する若年性認知症の方が地域で安心・安全に暮らすことができるように、市民や認知症支援に関わる関係者の理解を深めるとともに、地域において若年性認知症の方やその家族への適切な支援を推進します。また、若年性認知症は高齢者の認知症と異なり、現役世代で発症し、就労の継続や経済的な事柄などが大きな問題となることから、専門性を有する若年性認知症コーディネーターなど、北海道の関係機関と密接に連携し、ケースが発生した場合に備えていきます。		
評価年度における 取組内容等	若年性認知症支援コーディネーターと連携を図ることにより、潜在化しやすい若年性認知症の人への支援体制の構築を図りました。また、恵庭市と合同で若年性認知症当事者を対象とした交流会を開催し、当事者同士のつながりを深める活動を行いました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(4) 認知症ケアパスの普及	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	認知症高齢者とその家族ができる限り住み慣れた地域で生活を続けることができるよう、認知症と疑われる症状が発生した場合に、いつ、どこで、どのような医療や介護サービスを受ければ良いか理解するための、認知症ケアパスの内容の定期的な見直しを行うとともに、普及を推進します。		
評価年度における 取組内容等	認知症高齢者とその家族ができる限り住み慣れた地域で生活を続けることができるよう、必要に応じて認知症ケアパスを配布し、認知症の人の状態に応じた適切なサービス提供の流れを普及しました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

## 施策項目2 認知症の人を支える地域づくりの推進

具体的施策	(1) 認知症の正しい知識の普及・啓発	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	認知症地域支援推進員や絆の会、千歳認知症の人と共にあゆむ会(はまなすの会)などの関係機関が連携し、認知症をテーマにしたイベントの開催、住民や介護事業者等を対象にした説明会、研修会、出前講座等を実施し、正しい知識の普及・啓発に努めます。		
評価年度における 取組内容等	社会福祉協議会や地域包括支援センターなどの職員が参加し、RUN伴を開催したほか、絆の会とちとせの介護医療連携の会と連携し、映画『オレンジ・ランプ』特別上映会を実施しました。また、出前講座を5件行い、認知症に関する普及啓発に行いました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	拡充

具体的施策	(2) 認知症の人本人からの発信支援	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	認知症の人本人の意見や希望を企画・立案に反映し、トークイベントや認知症に関する講演会の開催など、認知症の人が自ら発信する機会の創出に努めます。		
評価年度における 取組内容等	認知症の人本人と対話を重ね、本人の特性を生かした洗車ボランティアを継続的に実施しました。また、近隣市の認知症の人と交流の場を設け、本人らしい社会参加の方法やより良い支援のあり方について意見交換を行いました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	拡充

具体的施策	(3) 認知症サポーター養成講座の実施	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	認知症に関する正しい知識と理解に基づく本人や家族への支援を通して、地域単位での総合的、継続的な支援体制を確立していくことが必要です。このため、キャラバンメイドによる認知症の方や家族を支援する認知症サポーター養成講座を引き続き推進します。 また、認知症サポーターの量的な拡大を図ることに加え、より高度な知識を身に着けるため、新たに認知症サポーターのフォローアップ研修を実施し、チームオレンジの活動など、認知症の人を支える支援者の養成を行います。		
評価年度における 取組内容等	認知症サポーター養成講座を13回実施し、参加者は延べ466名でした。市内の認知症サポーターは、累計で8,699名となり、地域単位での総合的、継続的な支援体制の確立を図りました。また、本人参加型のカフェを開催し、その活動を通して支援者の養成を行いました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(4) チームオレンジの構築	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	認知症の人やその家族を地域で支援するため、認知症地域支援推進員が中心となり、認知症サポーター等による支援チーム「チームオレンジ」を構築します。 第8期計画では、チームオレンジの構築を行い、認知症の人本人による絵本の読み聞かせ会を実施しました。第9期計画では、チームオレンジの活動を更に発展させるため、認知症サポーターにボランティアとして協力してもらう体制の構築を推進していきます。		
評価年度における 取組内容等	認知症の人本人のやりたいことの実現を目指し、その活動を支援しました。具体的には、本人が培ってきた能力を活かし、洗車のボランティア活動へ繋げました。そのほか、近隣自治体と連携し、本人同士の交流の機会を設ける取組みも行いました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	拡充

具体的施策	(5) 認知症家族等への支援や居場所づくり	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	<p>千歳認知症の人と共にあゆむ会(はまなすの会)は、月に1回、北ガス文化ホールで例会(つどい)を開催し、介護に関する情報交換や会員同士の交流を図っています。</p> <p>また、市内にある千正寺より会場提供のご協力をいただき、月に1回、南区地域包括支援センターや民間団体(ラポールエイム)が中心となり、認知症カフェ(共生型)として開催しており、認知症地域支援推進員も運営への参加協力を行っています。</p> <p>今後も、認知症家族等への支援や居場所づくりを推進していきます。</p>		
評価年度における 取組内容等	<p>千歳認知症の人と共にあゆむ会(はまなすの会)では、例会を毎月開催し、介護に関する情報交換や会員同士の交流を図りました。また、市の掲示板においてポスター掲示やパンフレットの配架を行い、はまなすの会の活動を広く周知しました。そのほか、市内にある千正寺にて認知症カフェ(共生型)を開催し、認知症地域支援推進員も運営への参加協力を行いました。</p>		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(6) 千歳地域SOSネットワーク	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	<p>千歳市社会福祉協議会が事務局となり、認知症の方等の徘徊による事故を防止するため、警察署のほか、市内の関係機関や事業所、団体が協力し、日頃から多くの目で見守り、行方不明となっても早期に発見・保護する地域の仕組みをつくり、安心して暮らせるやさしい地域づくりを目指したネットワークです。平成28年度からは、認知症地域支援推進員と共同で行方不明高齢者等捜索模擬訓練を行っており、早期発見・保護の仕組みづくりのため今後も継続して実施していきます。市は、引き続きネットワークに参画し、支援を行い、メール配信サービスや千歳市LINE公式アカウントの活用等により、行方不明高齢者の早期発見・保護に努めます。</p> <p>また、GPS機器のICTを活用した行方不明者の捜索を促進するため、千歳地域SOSネットワーク事業「千歳地域捜索ネットワーク」に登録している方等を対象に、令和4年度より認知症高齢者等GPS機器購入費等助成事業を開始しました。今後も、認知症高齢者等を介護する家族等の負担の軽減を図り、安心して介護ができる環境の整備を推進していきます。</p>		
評価年度における 取組内容等	<p>認知症や障がいのある方の行方不明による最悪の事態を防ぐため、早期発見・保護するネットワークの推進に努めたほか、ネットワークの協力体制を強化するため、千歳認知症の人と共にあゆむ会「はまなすの会」及び千歳市認知症地域支援推進員の協力のもと、捜索模擬訓練を年2回開催し、広報・周知に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千歳地域捜索ネットワーク運用状況 7件</li> <li>・事前登録制度登録状況 登録者数153名</li> <li>・行方不明者等捜索模擬訓練 (1回目)参加者24名 (2回目)参加者12名</li> </ul>		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(7) 民間企業・大学との連携	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	<p>コープさっぽろ、セブンイレブン、郵便局、イオン、ヤマト運輸等と高齢者の地域見守り活動に関する協定を締結しています。何らかの異変又は支援を必要としている高齢者を早期に発見し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、必要な支援につなげます。また、市内の大学や認知症疾患医療センター、認知症地域支援推進員などが連携し、認知症予防を目的としたイベントの開催やMCI(軽度認知障害)を対象とした認知症予防教室の開催などを実施していきます。</p>		
評価年度における 取組内容等	<p>介護予防センター、認知症地域支援推進員、北海道千歳リハビリテーション大学が連携し、認知症評価基準の一つである「MMSE(ミニメンタルステート検査)」を用いて、MCI(軽度認知障害)に該当する可能性のある方に対し、認知症予防事業や医療機関へつなぐ取組を行いました。また、北海道千歳リハビリテーション大学とは、認知機能や体力を測定するイベントを共催で行うことや、介護予防に関する研究に協力することについて検討を行いました。</p>		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

【計画目標6 安心して暮らせる環境づくりの推進】

施策項目1 生活支援体制の充実

具体的施策	(1) 在宅支援サービス	担当	高齢者支援課
	① 緊急通報システム事業		
第9期計画 取組内容	<p>日常生活上、注意を要する状態にある一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯等に対し、急病や事故などの緊急時の対応を図るため、緊急通報機器を貸し出しています。千歳市消防指令センターが札幌市に統合されることから、第8期計画期間中に事業の見直しを行い、新しい委託先の受信センターで緊急通報を受信し、受信センターから消防に通報するシステムに順次、変更しています。</p> <p>受信センターでは、緊急時のみならず、24時間、365日、専門職による相談に対応することができるため、高齢者の不安解消を図ります。</p> <p>また、必要な方が利用できる仕組みとなるよう携帯端末の導入を目指します。</p>		
評価年度における 取組内容等	<p>令和7年度に千歳市消防指令センターが札幌市に統合されることに伴い、事業の見直しを行い、新しい委託先へ順次切り替えを行いました。新しい委託先の受信センターでは、24時間、365日、看護師等の専門職による相談対応も行っていることから、高齢者の不安解消を図りました。(令和6年度末の設置世帯数:220世帯)</p> <p>第9期計画期間中に、携帯端末の導入を目指します。</p>		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	拡充

具体的施策	(1) 在宅支援サービス	担当	高齢者支援課
	② 福祉電話の貸与		
第9期計画 取組内容	<p>市民税非課税世帯で、一人暮らしの高齢者世帯、高齢者夫婦世帯などで緊急通報システムの利用が必要となる世帯に対し、電話機の使用に必要な回線を貸与しています。利用世帯が少ないことから、緊急通報システム事業において携帯端末の導入が可能となった場合は、福祉電話の必要性について検討を行います。</p>		
評価年度における 取組内容等	<p>市民税非課税世帯で、一人暮らしの高齢者世帯に対し、電話機の私用に必要な回線を貸与しました。令和6年度末現在、利用者が2名と少ないことから、今後、事業の在り方について検討します。</p>		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 在宅支援サービス	担当	高齢者支援課
	③ 高齢者除雪サービス事業		
第9期計画 取組内容	<p>市が千歳市社会福祉協議会に委託し、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、町内会や民生委員等の協力のもと、町内(自治)会の除雪支援者や千歳市シルバー人材センター、千歳市環境整備事業協同組合のほか、協力団体による除雪支援を行います。</p>		
評価年度における 取組内容等	<p>千歳市社会福祉協議会に委託し、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、町内会や民生委員等の協力のもと、町内(自治)会の除雪支援者や千歳市シルバー人材センター、千歳市環境整備事業協同組合のほか、協力団体による除雪支援を行いました。</p> <p>高齢者対象世帯:550世帯</p>		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 在宅支援サービス	担当	高齢者支援課
	④ 福祉機器リサイクル貸出事業		
第9期計画 取組内容	<p>在宅の身体障がい者及び要介護認定者以外の方で介護を必要とする高齢者を対象に、車いす、介護ベッドなどの福祉機器の貸出しを行います。</p>		
評価年度における 取組内容等	<p>公的給付・貸与の対象とならない、または公的給付を受けるまでに時間を要する福祉機器を必要とする方を対象に、家庭で不要になった福祉機器をリサイクルして貸し出し、在宅介護の負担軽減を図りました。</p>		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 在宅支援サービス	担当	高齢者支援課
	⑤ ホームヘルプサービス		
第9期計画 取組内容	協力会員による家事援助を中心としたサービスを提供します。		
評価年度における 取組内容等	介護認定の有無に関わらず、介護を必要とする方に対し、介護保険サービスでは対応が難しい通院などの同行介助や家事援助を行いました。 実利用者27名 支援回数159回 提供時間183.5時間		
進捗状況 (評価)	B	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 在宅支援サービス	担当	高齢者支援課
	⑥ 大掃除サービス		
第9期計画 取組内容	65歳以上で日常生活に不便のある高齢者等を対象に、日常できない部分の大掃除を行うサービスを提供します。		
評価年度における 取組内容等	介護認定の有無に関わらず、介護を必要とする方に対し、介護保険サービスでは対応が難しい、換気扇やコンロ周辺などの台所回り、外構の整備などの大掃除を行いました。 実利用者5名 支援時間11時間		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 在宅支援サービス	担当	高齢者支援課
	⑦ ふとん丸洗いサービス		
第9期計画 取組内容	65歳以上で日常生活に不便のある高齢者を対象に、掛け布団、敷き布団、毛布の3枚1組を洗濯・乾燥するサービスを提供します。		
評価年度における 取組内容等	洗濯する機会が少ない高齢者の布団を清潔に保ち、快適な在宅生活を過ごしていただくことを目的に、安価設定によるクリーニングを実施しました。 年間利用件数 15件		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 在宅支援サービス	担当	高齢者支援課
	⑧ 健康増進サービス		
第9期計画 取組内容	介護者なしでは旅行することが困難な外出の機会が少ない高齢者を対象に、健康づくり、友達づくりを目的として、施設見学、温泉などの日帰り旅行を行います。		
評価年度における 取組内容等	健康状態などから外出する機会が少ない高齢者などを対象に、介護職員が同行し、参加者同士の交流・社会参加による健康増進と効果的な感染対策に努めた日帰りバス旅行を実施しました。 実施回数 1回目:小樽水族館、小樽貴賓館、2回目:ウポポイ民族共生象徴空間 参加者数:27名		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 在宅支援サービス	担当	高齢者支援課
	⑨ 調理教室		
第9期計画 取組内容	高齢男性等を対象に、手軽に作れる調理を体験してもらう調理教室を実施します。		
評価年度における 取組内容等	調理経験がない方、調理が好きな高齢者が参加し、自宅での調理習慣の構築、社会的孤立の解消を図り、在宅生活の継続に繋がる調理教室を実施しました。効果的な感染対策に努め、年2回の調理教室を実施し、17名の方に参加いただきました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 在宅支援サービス ⑩ 暮らしのちょっと応援サービス事業	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	高齢者世帯で既存の公的サービス等の対象とならないゴミ出しや清掃などの日常生活上のちょっとした困りごとを住民相互の助け合いで支える有償サービスを実施します。		
評価年度における 取組内容等	住民相互の助け合いを基本とし、ゴミ出しや清掃など制度の狭間の狭間にあるちょっとした困りごとの支援を通じて、助け合い、支え合う地域づくりを進めるため、住民参加型の有償サービス「暮らしのちょっと応援サービス事業(ヤマセミねっと)」を実施し、延べ415回の利用がありました。 また、利用事例を紹介するパンフレットを作成し、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等へ配布するなど、制度の周知を図りました。 実利用者数 81名		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) 高齢者福祉施設	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	環境上の理由や経済的理由により、居宅において生活することが困難な高齢者の方が入所する施設として、養護老人ホーム(千歳千寿園)があります。養護老人ホーム千歳千寿園(定員50人)は、高齢等により介護を必要とする入所者の増加に対応するため、特定入居者生活介護(定員30人)の指定を受けています。 家族等からの虐待を受けている高齢者を一時保護するための施設としても機能しており、地域包括支援センター等と連携を図りながら、今後も適切な支援を継続します。 また、60歳以上で生活することに不安を抱えている高齢者が生活する施設として、軽費老人ホーム(ケアハウス千歳ふくろうの園)があります。ケアハウス千歳ふくろうの園は、個人の自立を尊重した在宅型の生活環境を目指した施設で、有料老人ホームと比較して低廉な費用で入所することができます。大和地区いきいき保健・福祉プラン(平成14年3月策定)に基づき、平成18年5月から、定員50人で開設しています。 ケアハウス千歳ふくろうの園も、特定入居者生活介護(定員50人)の指定を受けており、介護サービスが必要な入所者に対するケアも対応可能でありニーズは高いため、継続してサービス提供に努めます。		
評価年度における 取組内容等	令和6年度末現在、養護老人ホーム千歳千寿園には46名が入所、ケアハウス千歳ふくろうの園には42名が入所しており、今後も継続してサービス提供に努めます。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

施策項目2 安心して暮らせる住まいの確保

具体的施策	(1) 高齢者世帯向けの特定目的住宅(市営住宅)	担当	市営住宅課
第9期計画 取組内容	住宅に困窮する低所得者の中でも高齢者世帯の居住の安定化を図るため、住戸を指定し、高齢者に限定して入居者を募集しています。 市営住宅の建て替えに当たっては、高齢者の加齢に伴う身体の衰え等に配慮したバリアフリー化やユニバーサルデザイン化を進め、これまでに132戸整備しています。 今後も、高齢者世帯等が安心して住み続けられるよう高齢者向けの特定目的住宅の供給を進めます。		
評価年度における 取組内容等	令和6年度は、新たに6世帯の方々が入居しました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) シルバーハウジング	担当	市営住宅課
第9期計画 取組内容	高齢者(公営住宅では60歳以上を高齢者としている)が地域の中で自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう、段差の解消、緊急通報システム及び手すり等の設置により、高齢者の身体状況や安全面に配慮した構造等となっている公営住宅で、生活援助員を配置し、生活指導・相談、安否の確認等の見守りサービスを提供しています。 道営住宅やまとの社団地では35戸が整備され、市営住宅北栄C団地では30戸を整備しており、今後も、シルバーハウジングによるサービス提供に努めていきます。		
評価年度における 取組内容等	令和6年度は、新たに5世帯の方々が入居しました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(3) 有料老人ホーム	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	高齢者に対して、入浴・排せつ・食事等の介護の提供、食事の提供、洗濯・掃除等の家事、健康管理等のいずれかのサービス(複数可)を行う住宅で、市内に開設されている住宅型有料老人ホームでは、生活援助や緊急時の対応のほか、介護が必要な場合には、外部の介護サービスを利用しながら継続して生活することができます。 今後も事業者の参入動向を注視し、有料老人ホームの情報提供に努めます。		
評価年度における 取組内容等	令和6年度末現在、有料老人ホームは、11施設あり、介護が必要な方へは、外部の介護サービスが提供されています。毎月公表している「ちとせの介護保険サービス等事業者一覧」において情報提供しています。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(4) サービス付き高齢者向け住宅	担当	建築政策課
第9期計画 取組内容	高齢者が安心して生活できるよう、一定の居室の広さや設備、バリアフリー構造などハード面の条件を備えるとともに安否確認、生活相談サービスの提供などの基準を満たし、国や都道府県に登録された賃貸住宅です。 高齢者の住まいや住み替えに関する情報が適切に提供されるよう、「サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム」の周知に努めていきます。		
評価年度における 取組内容等	令和6年度末現在、サービス付き高齢者向け住宅は、7施設あり、介護が必要な方へは、外部の介護サービスが提供されています。毎月公表している「ちとせの介護保険サービス等事業者一覧」において情報提供しています。 また、「サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム」において、施設情報が公開されているため、今後も当該システムの周知に努めます。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(5) 低所得高齢者の住まい支援	担当	市営住宅課
第9期計画 取組内容	市営住宅に入居する世帯の収入月額が生活保護法による基準生活費に達しない場合で、家賃を納めることが困難な世帯から相談があった場合等、生活状況等を把握のうえ、許可制により家賃の減免を行うとともに、70歳以上の高齢者のみで構成される世帯や70歳以上の高齢者と18歳未満の者で構成される世帯に対する減免措置を引き続き行います。		
評価年度における 取組内容等	令和6年度は、137件の高齢者世帯の家賃減免を行いました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(6) 福祉用具・住宅改修支援	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	居宅介護支援の提供を受けていない要介護者等の住宅改修理由書を作成した居宅介護支援事業所に対して経費の一部を助成します。		
評価年度における 取組内容等	居宅介護(予防)住宅改修費として支払われた住宅改修のうち、居宅介護支援の提供を受けていない要介護者等の住宅改修理由書を作成した居宅介護支援事業所等に対して経費の一部を助成しました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

施策項目3 人にやさしいまちづくりの促進

具体的施策	(1) 防災・感染症対策の推進	担当	福祉課
	① 避難行動要支援者避難支援プラン		
第9期計画 取組内容	国の「災害時要援護者避難支援ガイドライン」から「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」が策定されており、本市においても、東日本大震災及び北海道胆振東部地震の教訓を踏まえ、「千歳市避難行動要支援者避難支援プラン」を策定しています。 避難行動要支援者名簿の情報を民生委員・児童委員や防災関係機関等と共有し、災害時に速やかに情報伝達や安否確認、避難支援を行えるよう、避難行動要支援者への対策を推進します。		
評価年度における 取組内容等	避難行動要支援者名簿及び個別計画台帳を現状に合ったものに更新(5月及び11月の年2回更新)し、支援者名簿の情報を民生委員・児童委員や防災関係機関等と共有することにより、緊急時の避難支援に備えるとともに、支援を必要とする市民に対する平常時からの見守り体制の充実を図りました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 防災・感染症対策の推進	担当	高齢者支援課
	② 災害・感染症対策		
第9期計画 取組内容	地域包括支援センターが実施する「防災さんぽ」を通じて、災害時に危険となる箇所や避難経路を確認するなど、災害時に備えた取組を行います。 また、近年の地震等による災害や新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえ、介護事業所等が作成する「非常災害対策計画」や「業務継続計画」等に基づき、高齢者の安全確保を図ります。		
評価年度における 取組内容等	防災さんぽを1回開催し、災害時に危険となる箇所や避難経路を確認するなど、災害時に備えた取組を行うほか、防災食や非常用トイレの体験、防災に関する意見交換をはじめとした研修を4回行いました。 また、介護事業所等に対する集団指導や運営指導において、「非常災害対策計画」や「業務継続計画」の策定の必要性について周知を図り、必要に応じて助言を行いました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

施策項目4 高齢者の権利擁護の推進

具体的施策	(1) 成年後見制度	担当	福祉課・高齢者支援課
	① 成年後見制度の普及・啓発		
第9期計画 取組内容	成年後見制度の理解を深めるための講演会等を開催します。また、成年後見支援センターの役割や成年後見制度に関するパンフレットを作成し、広く市民へ周知を図ります。		
評価年度における 取組内容等	市社協ホームページや広報紙、パンフレットの他、市公式SNSなどを通じて、成年後見支援センターや成年後見制度の周知を図りました。また、法律専門職による出張相談を開催し、相談窓口の周知・拡大に努めました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 成年後見制度	担当	福祉課・高齢者支援課
	② 市民後見人の育成		
第9期計画 取組内容	認知症の高齢者等、被後見人の増加が見込まれる中、少子化や核家族化などにより親族の支援が困難な世帯の増加や、専門職後見人の不足が懸念されています。また、地域の状況をよく把握し身近な支援が期待できる後見の新たな担い手として市民後見人の養成が求められていることから、市民後見人養成研修の開催などにより、継続して市民後見人を養成していきます。		
評価年度における 取組内容等	権利擁護支援の担い手養成を目的に市民後見人養成講座を開催し市民14名が修了、センター開設後の講座修了者は延べ71名となりました。これまで9名が、後見支援員の登録・活動を経て札幌家庭裁判所から市民後見人に選任され現在8名が市民後見人として活動しているほか、後見支援員、生活支援員としての活動にもつながりました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 成年後見制度 ③ 成年後見制度利用支援事業	担当	福祉課・高齢者支援課
第9期計画 取組内容	a. 成年後見制度利用支援事業 認知症などにより判断能力が不十分で、かつ親族による申し立てができない場合、市長が代わって申し立てを行い、申し立てに係る費用等を助成します。 b. 成年後見等報酬助成事業 被後見人の資力が乏しい場合など、条件により成年後見人等の報酬を助成します。 c. 審判請求費用助成事業 申立人の資力が乏しい場合など、条件により審判請求に係る費用を助成します。		
評価年度における 取組内容等	認知症などにより判断能力が不十分で、かつ親族による申し立てができない場合、市長が代わって申し立てを行い、申し立てに係る費用等の助成を行いました。また、被後見人の資力が乏しい場合などに成年後見人等の報酬の助成を行いました。 ・成年後見制度利用支援事業 市長申立件数:3件 ・成年後見等報酬助成事業 報酬助成件数:7件		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(1) 成年後見制度 ④ 成年後見支援センター	担当	福祉課・高齢者支援課
第9期計画 取組内容	成年後見制度の普及啓発や相談支援、市民後見人等の養成等を推進するとともに、日常生活自立支援事業を一体的に実施し、福祉・介護・医療・法律等専門職の連携による支援体制を構築します。 第8期計画では、成年後見制度利用促進のため、申立て費用や後見人等報酬助成の対象を拡大しました。 第9期計画では、市民後見人を継続して養成するとともに、後見人の活動支援を推進します。		
評価年度における 取組内容等	座学と施設実習による市民後見人養成講座を開催するとともに、勤労者が参加しやすい平日と土曜日の併用で開催し、受講者の拡大に努めました。また、市民後見人が不安なく安心して後見業務に取り組めるよう、家庭裁判所に提出する報告書等のほか、入退院などの医療契約、介護保険や障害福祉サービス等の契約、死後事務の支援などの場面では、成年後見支援センター職員が伴走して支援しました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) 日常生活自立支援事業の推進	担当	福祉課
第9期計画 取組内容	判断能力に不安のある方が自立した地域生活を送ることができるよう、福祉サービスの利用援助や手続の代行、日常の金銭管理など地域生活サービスを提供し、安心して日常生活が維持できるよう日常生活自立支援事業の支援が必要です。 第8期計画では、日常生活自立支援事業の活用を促進するとともに、利用者の判断能力に応じた成年後見制度利用への移行を支援しました。また、サービス提供の担い手である生活支援員等の確保及び養成のため、市民後見人養成講座修了者を対象に生活支援員養成研修会を開催しました。 第9期計画では、引き続き、千歳市成年後見支援センターの運営と一体的に日常生活自立支援事業の活用を促進し、利用者の判断能力に応じた成年後見制度への移行や、担い手育成などを進め、支援を強化します。		
評価年度における 取組内容等	相談者からの相談を幅広く受け止め、生活状況や判断能力に応じた切れ目のない包括的な支援に対応するため、日常生活自立支援事業の活用を進めるとともに、成年後見制度への移行、その他の制度活用を支援しました。また、市民後見人養成講座修了者に生活支援員研修会への参加を呼びかけ、担い手確保につながりました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

具体的施策	(2) 高齢者虐待防止対策の推進	担当	高齢者支援課
第9期計画 取組内容	高齢者虐待の通報を受けた際には、市と地域包括支援センターを中心に迅速で適正な対応を行います。また、行政、警察、弁護士会、医師会等で構成する「千歳市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議」を設置し、組織間のネットワークによる支援体制を強化するとともに、高齢者の虐待防止に関する普及・啓発を行います。		
評価年度における 取組内容等	千歳市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議を行い、組織間のネットワークによる支援体制の強化を図りました。また、必要に応じて地域ケア会議を行い、地域包括支援センターや警察、介護事業所などの関係機関と連携し、適正な対応を図りました。		
進捗状況 (評価)	A	今後の方向性	維持

## 別表2

## 介護保険サービスの供給状況

居宅介護サービス		令和6年度			令和7年度			令和8年度		
		計画値	実績値	対計画比 (供給率)	計画値	実績値	対計画比 (供給率)	計画値	実績値	対計画比 (供給率)
訪問介護	回	7,253	7,324	101.0	7,598		0.0	7,945		0.0
	人	400	342	85.5	415		0.0	432		0.0
訪問入浴介護	回	220	221	100.5	226		0.0	226		0.0
	人	47	42	89.4	48		0.0	48		0.0
訪問看護	回	2,816	2,531	89.9	2,974		0.0	3,080		0.0
	人	331	300	90.6	347		0.0	360		0.0
訪問リハビリテーション	回	1,314	1,127	85.8	1,372		0.0	1,429		0.0
	人	116	95	81.9	121		0.0	126		0.0
居宅療養管理指導	人	592	628	106.1	621		0.0	649		0.0
通所介護	回	3,612	3,007	83.3	3,737		0.0	3,880		0.0
	人	415	345	83.1	430		0.0	447		0.0
通所リハビリテーション	回	1,975	1,982	100.4	2,057		0.0	2,119		0.0
	人	285	281	98.6	297		0.0	306		0.0
短期入所生活介護	日	308	305	99.0	334		0.0	343		0.0
	人	41	45	109.8	45		0.0	46		0.0
短期入所療養介護 (老健)	日	36	71	197.2	36		0.0	36		0.0
	人	7	13	185.7	7		0.0	7		0.0
短期入所療養介護 (病院等)	日	0	0	-	0			0		
	人	0	0	-	0			0		
短期入所療養介護 (介護医療院)	日	0	3	-	0			0		
	人	0	1	-	0			0		
福祉用具貸与	人	952	871	91.5	991		0.0	1,032		0.0
特定福祉用具購入費	人	15	17	113.3	15		0.0	17		0.0
住宅改修費	人	14	12	85.7	14		0.0	14		0.0
特定施設入居者生活介護	人	59	68	115.3	60		0.0	112		0.0

※利用実績のないサービスの計画値は、「0.0」・「0」、供給率は「-」で表示しています。

## 別表2

地域密着型介護サービス		令和6年度			令和7年度			令和8年度		
		計画値	実績値	対計画比 (供給率)	計画値	実績値	対計画比 (供給率)	計画値	実績値	対計画比 (供給率)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人	97	86	88.7	100		0.0	105		0.0
夜間対応型訪問介護	人	0	0	-	0			0		
地域密着型通所介護	回	2,462	2,020	82.0	2,558		0.0	2,660		0.0
	人	286	241	84.3	297		0.0	309		0.0
認知症対応型通所介護	回	349	383	109.7	383		0.0	390		0.0
	人	43	46	107.0	47		0.0	48		0.0
小規模多機能型居宅介護	人	142	132	93.0	146		0.0	153		0.0
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	人	279	293	105.0	297		0.0	306		0.0
地域密着型特定施設入居者生活介護	人	0	0	-	0			0		
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	人	52	53	101.9	52		0.0	52		0.0
看護小規模多機能型居宅介護	人	88	63	71.6	94		0.0	99		0.0

施設サービス		令和6年度			令和7年度			令和8年度		
		計画値	実績値	対計画比 (供給率)	計画値	実績値	対計画比 (供給率)	計画値	実績値	対計画比 (供給率)
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	人	217	195	89.9	217		0.0	277		0.0
介護老人保健施設	人	230	194	84.3	230		0.0	230		0.0
介護医療院	人	18	13	72.2	18		0.0	18		0.0

居宅介護支援		令和6年度			令和7年度			令和8年度		
		計画値	実績値	対計画比 (供給率)	計画値	実績値	対計画比 (供給率)	計画値	実績値	対計画比 (供給率)
居宅介護支援	人	1,270	1,139	89.7	1,320		0.0	1,371		0.0

※利用実績のないサービスの計画値は、「0.0」・「0」、供給率は「-」で表示しています。

## 別表2

介護予防サービス		令和6年度			令和7年度			令和8年度		
		計画値	実績値	対計画比 (供給率)	計画値	実績値	対計画比 (供給率)	計画値	実績値	対計画比 (供給率)
介護予防訪問入浴 介護	回	0	0	-	0			0		
	人	0	0	-	0			0		
介護予防訪問看護	回	390	447	114.6	395		0.0	405		0.0
	人	79	87	110.1	80		0.0	82		0.0
介護予防リハビリ テーション	回	365	475	130.1	374		0.0	384		0.0
	人	38	47	123.7	39		0.0	40		0.0
介護予防居宅療養 管理指導	人	46	45	97.8	46		0.0	48		0.0
介護予防通所リハビ リテーション	人	205	234	114.1	209		0.0	212		0.0
介護予防短期入所 生活介護	日	0	6	-	0			0		
	人	0	2	-	0			0		
介護予防短期入所 療養介護(老健)	日	0	0	-	0			0		
	人	0	0	-	0			0		
介護予防短期入所 療養介護(介護医療 院)	日	0	0	-	0			0		
	人	0	0	-	0			0		
介護予防福祉用具 貸与	人	421	474	112.6	429		0.0	437		0.0
特定介護予防福祉 用具購入費	人	8	9	112.5	8		0.0	8		0.0
介護予防住宅改修	人	16	13	81.3	17		0.0	17		0.0
介護予防特定施設 入居者生活介護	人	19	23	121.1	20		0.0	20		0.0

地域密着型介護予防サービス		令和6年度			令和7年度			令和8年度		
		計画値	実績値	対計画比 (供給率)	計画値	実績値	対計画比 (供給率)	計画値	実績値	対計画比 (供給率)
介護予防認知症対 応型通所介護	回	17	10	58.8	17		0.0	17		0.0
	人	2	1	50.0	2		0.0	2		0.0
介護予防小規模多 機能型居宅介護	人	16	19	118.8	17		0.0	17		0.0
介護予防認知症対 応型共同生活介護	人	1	1	100.0	1		0.0	1		0.0

介護予防支援		令和6年度			令和7年度			令和8年度		
		計画値	実績値	対計画比 (供給率)	計画値	実績値	対計画比 (供給率)	計画値	実績値	対計画比 (供給率)
介護予防支援	人	599	665	111.0	610		0.0	620		0.0

※利用実績のないサービスの計画値は、「0.0」・「0」、供給率は「-」で表示しています。

## 別表2

介護予防・日常生活支援総合事業		令和6年度			令和7年度			令和8年度		
		計画値	実績値	対計画比 (供給率)	計画値	実績値	対計画比 (供給率)	計画値	実績値	対計画比 (供給率)
介護予防訪問型サービス	人	225	230	102.2	225		0.0	225		0.0
訪問型サービスA	人	0	0	-	0			0		
介護予防通所型サービス	人	502	467	93.0	513		0.0	525		0.0
介護予防通所型サービスA	人	0	0	-	0			0		

※利用実績のないサービスの計画値は、「0.0」・「0」、供給率は「-」で表示しています。